

パラペイ施工事例（石川県小松市編）

- 毎年度実施されるパラペイ景観舗装 石川県第2の都市小松市。町家まちなみ保存道路改良工事。
- パラペイとは、パラレルペイメントの略語。 区画街路の民家側に並行に走る景観舗装のことである。一般的に、安心・安全とゆとりあるマイタウンづくりを目的にしている。



2009. 3 京町



2008. 12 材木町



2010. 3 大文字町①

大文字町 ①



2012. 3 大文字町②



2011. 2 東町

強化板工法の特長

強化板工法は、施工手順でも示すようにコンクリート路盤を使用しない乾式のたわみ性構造であることから、いろいろな特長を有する。

- ① 即時交通解放ができ道路舗装に適している。
- ② 既設As舗装部をはがし、既設路盤の有効利用が図れる。
- ③ 境界線もたわみ性が可能で、コンクリート路盤は不要である。
- ④ 計画通り工事ができ、冬期や梅雨時に便利である。

工事手順



①側溝の設置 平板舗装部掘削



②瀝青安定処理



③平板+強化板の敷設



境界石150/300/80 ④強化板工法

③平板+強化板の敷設 境界石150/300/80 ④強化板工法

パラペイ (パラレルペイブメント) 構造設計図例

目的 歩車兼用道路において民家側の一部を安全と景観を重視した平板舗装にすることを目的とする。

設計条件

交通量 普通乗用車・小型貨物車が300台未満/1日1方向

大型車15台未満/1日1方向

使用ブロック 300角平板

敷設パターン 芋張り

舗装工法 強化板工法

歩車兼用道路 道路幅員5m 内平板舗装1.2m

アスファルトとの境界 ① 150×300×80 (たわみ性構造)

② 100×120×600 (剛構造)

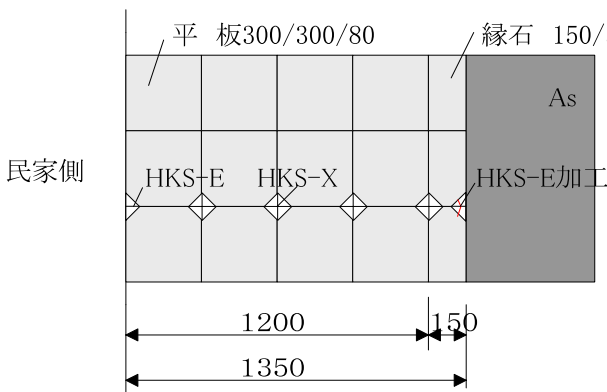


パラペイ(パラレルペイブメント)事例
石川県小松市 町家まちなみ保存道路改修工事

設計例

1. 平面図

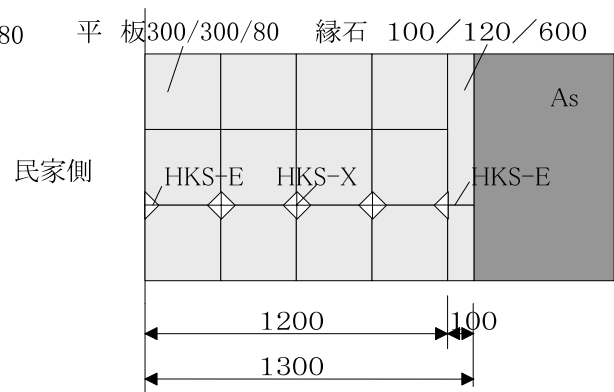
① 境界 150×300×80 (たわみ性構造)



平板舗装延長1m当たりの積算数量

- ①300/300/80 13.33枚/m
- ②150/300/80 3.33枚/m
- ③HKS-X 13.33個/m
- ④HKS-E 6.67個/m

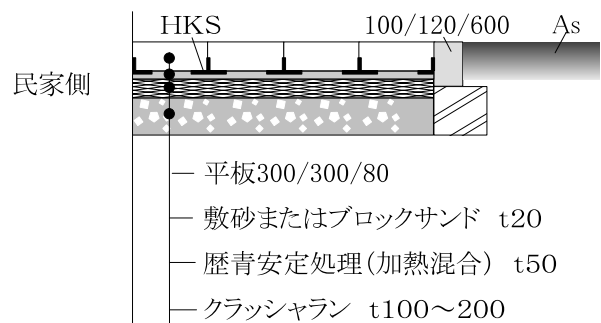
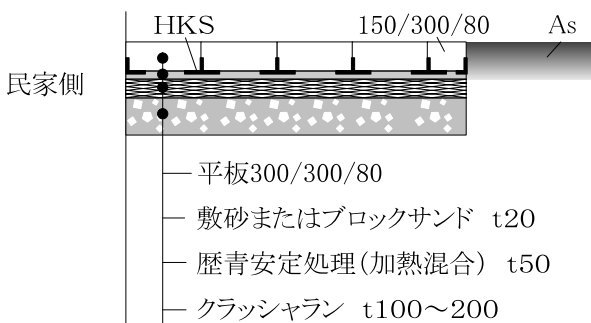
② 100×120×600 (剛構造)



平板舗装延長1m当たりの積算数量

- ①300/300/80 13.33枚/m
- ②100/120/600 1.67本/m
- ③HKS-X 10.00個/m
- ④HKS-E 6.67個/m

2. 断面図



注 ① パラペイとは、パラレルペイブメントのことで、歩車兼用道路に於いて、車道の民家側の両側の一部に並行して施工された安全と景観を重視したブロック舗装を言う。
② 境界線は、舗装の耐久性から「たわみ性」構造を推薦する。